

# ぐんじゅ 軍需のまちだった枚方市

かつて枚方は、爆弾や砲弾を製造・保管する施設が3つもある「軍需のまち」でした。「軍需」とは、爆弾や砲弾など軍事上、必要とされる物資のことです。中宮・片鉾・甲斐田地区にあった枚方製造所は、忙しい時には約3万人が昼夜2交代制で働き、大阪市内や伏見（京都）・米子（鳥取）にも工場をもつ、日本最大の砲弾製造所でした。作られた爆弾や砲弾は主に鉄道で運ばれ、まちを破壊したり、人を殺したりすることに使われました。



## そかい 集団疎開



1944(昭和19)年、空襲から逃れるため、大阪市の大宮国民学校の児童635人\*が引率教員や寮母とともに、津田・交野・星田の3町村に集団疎開してきました。子どもたちは親元を離れ、寂しい集団生活を送りました。※「学童集団疎開の生活—引率教員の日記—」より



## 調べてみよう！

どうして香里には軍需工場ができたのだろう？ヒントは地形。爆発の危険がある火薬を扱うならどんな場所が向いているのかな？

ひこぼしくん



## 枚方と戦争の年表

### ぐんじゅ 軍需のまちから平和のまちへ

|                  |                  |                  |                  |                  |                  |                  |                                            |                  |                  |                  |                  |                  |                        |                  |                  |                  |                 |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 1894年<br>(明治27年) | 1897年<br>(明治30年) | 1898年<br>(明治31年) | 1904年<br>(明治37年) | 1909年<br>(明治42年) | 1910年<br>(明治43年) | 1937年<br>(昭和12年) | 1938年<br>(昭和13年)                           | 1939年<br>(昭和14年) | 1941年<br>(昭和16年) | 1944年<br>(昭和19年) | 1945年<br>(昭和20年) | 1947年<br>(昭和22年) | 1954年<br>(昭和29年)       | 1956年<br>(昭和31年) | 1958年<br>(昭和33年) | 1982年<br>(昭和57年) | 1989年<br>(平成元年) |
| 日清戦争が始まる         | 禁野火薬庫が開設         | 津田駅・長尾駅ができる      | 関西鉄道(JR学研都市線)が開通 | 日露戦争が始まる         | 禁野火薬庫が爆発         | 京阪電鉄が開通          | 香里(現在の香里園)・枚方(枚方公園)・枚方東口(枚方市・牧野・樟葉の各駅)ができる | 国家総動員法が公布        | 枚方製造所が開設         | 日中戦争が始まる         | 香里製造所が開設         | 禁野火薬庫が大爆発        | 大阪市の大宮国民学校の児童が津田町に集団疎開 | 太平洋戦争が始まる        | 広島・長崎に原子爆弾が投下    | 太平洋戦争が終結         | 「枚方市平和の日」を制定    |

※枚方の出来事は青字で記載

## きんや 禁野火薬庫



日清戦争後の軍備拡張の一環で、1897(明治30)年に禁野火薬庫が作られました。当時は淀川で船を使って物資を運ぶことが多かったことから、兵器工場のあった大阪と宇治の間にあり、人があまり住んでいなかった禁野の場所が選ばれました。

## 枚方製造所



1937(昭和12)年に日中戦争が始まり、弾丸・信管を増産するため、禁野火薬庫の東隣に枚方製造所が作られました。1938(昭和13)年から生産を始め、主に大・中・小口径の各種砲弾、爆弾や信管を製造していました。

## こうり 香里製造所



中国との戦争が激しくなった1939(昭和14)年にできました。主に湿った火薬を乾燥させて、砲弾や爆弾に詰めて完成品にする作業などを行っていました。

## こうり 市民の平和運動が実った 香里団地



戦後、工場の一部は学校や病院として使われましたが、設備等は放置されていました。1950(昭和25)年、朝鮮戦争が始まると民間の火薬製造会社(香里製造所)の払い下げを申請。禁野火薬庫大爆発の悲惨さを知っていた市民は大反対しました。1万人の署名を集めて国会や政府に陳情するなどした結果、火薬工場はつくらないことになり、香里製造所跡には、1958(昭和33)年、当時東洋一といわれた香里団地ができました。